

磐城時報

編輯兼發行所 石城郡平町新屋町十四
印刷所 石城郡平町新屋町十四
電話 二五〇
一、電話掛金 一月 一元五角
二、電話掛金 三月 四元五角
三、電話掛金 半年 八元五角
四、電話掛金 一年 十六元五角
五、電話掛金 二年 三十二元五角
六、電話掛金 三年 四十八元五角
七、電話掛金 四年 六十四元五角
八、電話掛金 五年 八十元五角
九、電話掛金 六年 九十六元五角
十、電話掛金 七年 一百一十二元五角
十一、電話掛金 八年 一百二十八元五角
十二、電話掛金 九年 一百四十四元五角
十三、電話掛金 十年 一百六十元五角
十四、電話掛金 十五年 二百一十六元五角
十五、電話掛金 二十年 二百八十八元五角
十六、電話掛金 三十年 四百三十二元五角
十七、電話掛金 四十年 五百七十六元五角
十八、電話掛金 五十年 七百二十元五角
十九、電話掛金 六十年 八百六十四元五角
二十、電話掛金 七十年 一千零一十六元五角
二十一年、電話掛金 八十年 一千一百六十八元五角
二十二年、電話掛金 九十年 一千三百二十元五角
二十三年、電話掛金 一〇〇年 一千四百七十二元五角
二十四年、電話掛金 一〇〇年 一千五百七十四元五角
二十五年、電話掛金 一〇〇年 一千七百二十六元五角
二十六年、電話掛金 一〇〇年 一千九百二十八元五角
二十七年、電話掛金 一〇〇年 二千一百八十元五角
二十八年、電話掛金 一〇〇年 二千三百三十二元五角
二十九年、電話掛金 一〇〇年 二千四百八十四元五角
三十年、電話掛金 一〇〇年 二千六百三十六元五角

平四倉間の自動車 五十臺で大競争

鎌田町附近のカーブは 危険で交通出来ぬ

石城郡地方は乗り合自動車の増進を期し、取扱事務に關する研究と營業者間の競争が熾つて、協賛後海岸で懇親會を催し、自動車事故が頻發するので、縣保午後五時散會した。

電話當選者

局の本年度特別開通電話の抽籤は十三日行つた結果左の四名が當選した。

果樹組合長視察

石城郡内果樹組合長六名は石城郡農會内田書記と共に十三日午、

日用品を押賣する 偽苦學生が跋扈

石城郡下各地方に各學校が暑中の始り、學校等に籍がなく、

二等局長會議

十一日午前九時から石城郡小名濱町の公會堂に於て郡内三等郵便局長

野菜物が安いため 八百屋續々倒産

農民も乾上る

昨今石城郡地方殊に平町地方は野菜である、その時大隈さんは民衆が思ひ切つた安値で作つて賣政當時憲政内閣はやはりこんな出ず農家は肥料代どころか勞賃度も濱口さんだから民政内閣にも合はない有様であるが、野れで大隈内閣は野菜の安い最中、菜行商人、八百屋さんもその影に寺内内閣と改まつたのである。響を受けて廢業するものが續出、そこで平町の八百屋さんは野れ何れもこの残暑のみぎり悲鳴をあげたが、その時よりは今年切つてゐるのは石城地方のみではない全国的であらうが、それだけに苦境に立つものは益々深刻になつて来た、どうしてこの野菜を造つて高値に賣るか、如何にして八百屋の經營を立て行くか、こんなことを考へるものすらなくなつて、食ひへら、商賣と遊び半分での日を過すのである。野菜の安値、八百屋さんの恐慌は今から一昔大正六年大隈内閣時代にもあつた、その時代よりも今回の安値は痛

相馬支局通信

大工賃値下げ 原町大工組合にては十日より賃料の値下げをなし一日一圓四十錢と

虎丸一行來原

浪界中村町立相馬高等女學校同窓



田卷、長瀬、綿引三君の自轉車旅行

厚狭町より生田村へ抜ける峠の道は全た非道い。前信で書いた三石町の日本一の悪路、其處なんか此處では問題ではない。少し誇張して此處は世界一の悪路とでも言はうが、子供の頭大の石塊が無数に道を狭くし、さういふつて、此處は二町や三町の間に、さういふつて、四里も續かない、すつと三、四里も續くのだ。だいたい山口と云ふ此處の縣の名が氣に喰はぬ。それとは別に僕等の興味を唆つたことは此處(漁村)の言

の獨占兒齋甲齋虎丸一行は十六日午後五時より原町旭巖に於て花々しく開演する事となつた。最近下火の感ある浪花節も一行を迎ふ同町は相當に噂されてゐる、因に入場料は一人金七十錢である。

北海道旅行

佐藤 作 平 自老地方のアイヌ土人生活狀況視察の後登別温泉に來る。山水の明と温泉の豊なる稀に見る處なり、源泉地獄谷は火岩の跡未だ活動を休止せず、大正年間二回の爆發あり、一度此地に立たんか、此所に熱池あり、彼處に熱泥の池あり、何れも非常な高温にて噴上げつゝあり、瞬時にして靴底の熱するを覺え、一種異様な慄えを感じ永く止るを得なかつた。(登別温泉第一瀧本館にて十日朝)

西瓜出廻る

最近著しく栽培を増した、殊に中村町附近の西瓜も漸く出廻り始めた、同地賣買一貫百十五錢内外、出盛りは本月下旬

大河原氏の脱衣場

四倉海水浴場の脱衣場を開設して居る元祖(米好事)大河原米次郎氏は一般客に親切であるのと不景氣の大勉強とで好人氣を呼んで居る。

チフス發生

相馬郡高平村下高平農高橋浦(四〇)は十日腸チフスと判明直ちに隔離病舎に收容された。

鐵山溜池着工

相馬郡石神村鐵山溜池は昭和三年から六ヶ年間繼續事業として企圖せられたるが、關係各村水利組合の設立の遅延や起債關係で遅れてゐたが、今回愈々着工する事となり、十二日石神五臺山地内に於て最も嚴肅にこれが起工式を擧行した。

高女同窓會

浪界中村町立相馬高等女學校同窓會は、勿論僕等は醫學的にせよ、だが、それを單純に心臓が大腸へ出張したのだらう、位にしか考へ得ない。午後〇時三十分僕等はもう内地の南端馬關を前にしてゐる。海景も内海の静けさとは全然異つた海峽的なテンポの速さを持つてゐる。舊幕時の砲臺跡、悲劇の壇の浦、御裳川等の名蹟が急速度に展開する。道路は好い、而かも長府から沿岸を直線に走る廿間路だ。對岸は門司市だと云ふ。重疊する島々の鮮かに眼立つて突出した地点に、そいつが黒々と塊つてゐる。前幕は林立するマストだ。その無数のマスト、繪をパツクに持つて、此の不潔な市街地を關つた。此處で何故僕等は不潔と特

平第一校 臨海學校通信

(八月十日) 名残りの夢も起
床の合間に破られて、床をけ
つて立てば忽ち、小さい黒い
身体で疊を運ぶ。掛簾いさま
しく喜びのうちに宿舎は整理
される。終つて体重検査だ。
「オヤ、サログラムへたぞ」
「ナンダ、つた一キロ半か」
「オヤ、二キロ半もへて
るぞ」みんなふててゐる
一時間半の後は朝飯の机に
むかつてゐた。カン／＼と照
る海に出れば、もう飛び込む
さわざ。なんせ今日一日だも
の。横泳ぎ、平泳ぎ、ごうや
ら型だけの泳ぎのみの泳ぎだ。
土用波が立つ、潮のひき方は
速い、その中を勇ましく泳ぎ
まはる。陸に上るのも、
しい氣がする。正午、舎に歸
れば今日最後の食事の机。
なんとも別れがをしい。
そろ／＼と里心がついて来た。
もう荷造りだ。先生フンドシ
がない。「オラのシャツは？」
「だれのだ！この赤帽？」と難
音交る内にすつかり荷造りを
終へ、いよいよ最後の海に出
る。大きい西瓜、二つ海に浮
ぶ。たちまち亂れる僕等の體
列。西瓜うばひ。あつちには
ツツカリ、こつにはツツカリ。
「むぐれッ」わつちまへへ「こ
つちへよこせッ」わつちまへへ
「おれに半分！」「アッ陸へも
つて逃げたぞ」さわざのうち
に二つの西瓜はさう／＼皮だ
けをのこして、塔をたゞよは
せてしまふ。五時、舎に歸り、
名残りの茶話會を今までの食
室で開く。もく／＼と菓子食
食ふ。話一つ出ない。
校長先生の臨海學校閉會のお
言葉があり。荷物はトラヤク
につけ、僕等はステーション
に急いだ。八日間僕等を黒く
し、丈夫にしてくれた臨海學
校も終つた。宿舎よ、海よ、
四倉よ、「サヨナラ」満員の
汽車は平にむかふ。諸先生等
お父さん、姉さん、諸先生等

にお迎ひをうけ、それ／＼な
つかしの家路についた。
先生方の父兄にまさるお骨折
樂しかつた臨海學校にやつて
下さつた親の恩、忘れられ
ることは出来ない。(終り)

小川で溺死

双葉郡
久之濱町大字鐘ヶ瀬字戸ノ入八
海産物商遠藤與平三男昭三(三
才)は十一日午前十時半頃十一
川で水遊中行衛不明となつたの
で驚き調査中深さ約一尺七八寸
位で溺死して居たのを發見四倉
署より神倉部長出張視した。

慢性萬病治療院開始

弊院實驗所は醫藥無効不治の病としての
中風、癌、肺結核、癩病、其他の難病、病名
病原不名病ですら、めき／＼と快復します
但し治療中効能あらはれざる中は無料
一般難病者來り試みられよ

萬病 高速復式療法

福島縣平實驗所
回春堂治療院
福島縣平町仲町八番地

生花商 花友

平町字一丁目(電話三三三六番)
八田 與 市

丹後澤舟遊會 丹後澤鯉養育所

二葉印刷所

平町字仲町 電七三四

御中元御贈答品には
贈るに御便利、貰つて御重寶な
三井の商品券
三井呉服店

タクシーの御用命は
何卒昭和タクシーへ
(料金低廉)
サシミ
平驛前 電三四三番

生花教授
家元龍生派池坊
生花、盛花、投入、自然
營業では御座りません趣味で御相手致し度うございませす
平町 仲町三 (電話六二五番)
華道教授 天水庵 岡田華悦

前代未聞の珍藝
當る八月十三日午後五時開場
面白き夕夏の御樂しみ
生蕃土人演藝大會
ジンス。土人の踊
芝居。其他數種
聚樂館
入場料 時節柄 大勉強 大人 二十錢 小人 十錢 御早いから

麻雀俱樂部開設
東洋趣味の粹として近代日本を壓倒してゐる麻雀の俱樂部
が平町に生れました。支那の本場を偲ばしめる高雅な
設備一切を整ひ三日早朝より開店し
皆様の御出を御待ちしてゐます。麻雀を知らないは現代人
の大なる恥であることまで云はれてゐる折柄是非御遊びにお
出で下さるやうお願いいたします。
初めの方や御婦人方には丁寧な御教へ
致します。
平驛前 (實川醫院裏)
平麻雀俱樂部

喰べてびつくり魚清料理
安くて... 美味しい
品ぞろひ
天す 二十錢
井し 二十五錢
さしみお飯付 二十五錢
外お好み應じ調理致します
配達迅速第一主義の
平警察署通 魚清
日本料理 氷卸部
勿來製氷一販賣 天然氷販賣
冷藏用、病人用として徳用の天然氷を
御利用下さい
困窮者病人に限り氷を無料給與致します
印刷物は... 加納活版所

貸切専用の
スマートな自動車
貸切専用のスマートな自動車が増りました
親切迅速安全をモットーとし低廉な料
金で奉仕致します。
是非御試乗御用命願上げます。
野崎自動車商會
平町田町 電話六五九番

氷水
氷あつき 同しら玉 同玉子水 同ラムチ 同おんご
同れもん 同おんご
アイスクリーム 一ぱい 一ぱい
あづきアイス 一ぱい 一ぱい
ミルクセイキ 一ぱい 一ぱい
水セイキ水 一ぱい 一ぱい
御注文は電話三〇五番へ出揃迅速
平町字二丁目 藤 市